

SSKP 船橋障害者自立生活センター

58

うえいぱにゅーす 2009年5月

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F
URL: <http://www.cil-funabashi.org/>

TEL: 047-432-4554 / FAX: 047-432-4565
E-Mail: cil-funabashi@cil-funabashi.org

2009年度定期総会のお知らせ

いつの間にか季節は春から初夏へと移り、何をするにも気持ちの良い季節になりました。

新年度を迎え、私たちスタッフ一同も気分も新たに毎日の活動に追われています。

特に今年度は、「障害者福祉作業所WAVEの設立」という新しい事業に取り組むことになりました。

既に市の補助事業としての認可を頂いており、その意味では「自立と社会参加」を目指して続けてきた活動が新たな段階に入るわけですが、それだけに、社会の厳しさと正面から向き合うことも予想され、私たちの真の「実力」が問われることになりそうです。

また、新たな活動と、ピア・カウンセリングや自立生活プログラムなど、従来からのセンターとしての独自の活動とどのようにリンクさせるかという問題や独自の財源の確保も課題となっています。

というわけで、多くの課題を残したまま新年度を迎える形となりました。そうした状況をふまえて、センターの今年1年の計画について議論していただくために、下記の要項で定期総会を開催することになりました。

会員の皆さんには、返信用の葉書を同封しましたので、必要事項をご記入の上5月25日までにご返送いただきたいと思います。

センターにとって、一つの転機となる時期を迎えての総会となりますので、是非たくさんの方々のご出席をお願いいたします。

記

日時：6月7日（日）午後1時半～4時
場所：船橋中央公民館 第2集会室

障害者福祉作業所 WAVE 正式開所

このたび、私たちの作業所 WAVE が 4 月 1 日に正式開所いたしました。船橋市のご指導のもと、申請の運びとなりました。

4 月 20 日にはいつもお願いしているケア・ネットのヘルパーでもある根岸皓子さんにお料理を作っていただき、社会福祉協議会の島村課長・運営委員の方々などをお招きし、利用者、スタッフも出席してささやかな昼食会も開くことができました。

しかし、作業内容で重度訪問介護制度のヘルパーを利用することができないなど、大きな問題が残っています。これからもそれらの問題については、市の方々と話し合っていきたいと思っています。障害福祉課の皆様には、これからもお手をかけることになりましたが、どうかご相談にのっていただけますよう、お願いいたします。

また、他の関係者の方々、後援者の方々にもご協力いただくことが多いと思います。皆様、どうぞよろしく申し上げます。

船橋バリアフリーガイド作成に当たって

私たちのセンターは 4 月から「船橋バリアフリーガイド」第 3 弾の実地調査を開始していますが、この調査は、わたしたち障害当事者にとって大事な活動の一つであります。つまり、障害当事者の生活が全般に渡って送りやすいように環境を自分たちの手で少しずつ変えていくことを最大の目的としています。私たちや高齢者が街の中にどしどし出ていけるようにするために、過去 2 回バリアフリー調査をしてきた次第です。

この調査は、前述したように街の中に多くあるバリアをできるだけなくし、最終的にはバリアというバリアをこの船橋という地域から完全に撤去させることを目指しています。この調査はそのために行なう重要な作業なのです。

どうかこの調査が成功裏に終わるよう、多くの方にご協力、ご支援を心からお願い申し上げます。

山本



2008 年度 千葉県難病患者交流会に参加しました

2009 年 3 月 10 日(火)千葉市生涯学習センター大ホールにて、交流会が開かれました。このような集まりに参加するのは初めてのことで、いわゆる難病のうち 130 疾患が特定疾患とされ、そのうち 45 疾患が公費負担助成の対象であることも、初めて知りました。当日は、12 の難病団体と保健所の保健師さんや各難病支援センターの MSW（医療ソーシャルワーカー）の方々が参加されていました。12 の団体の近況報告と災害時に行政や医療機関に望むことについて発表が行われました。

発表の中で、差別があるために「病気の事を家族にも言えず、一人で抱え込んでいる人がいる」との発言が多くありました。そのようなことから当事者団体の重要性をととも感じます。また、災害時の備えということに関しては、医療機関での薬の備蓄を訴える声が聞かれました。それから、これはバリアフリーの観点から見ても大切なことだと思いますが、オストミー用トイレ、ウォシュレット付きトイレの普及という意見もあり、改めて街の整備の必要性を感じました。

難病・特定疾患の定義などについては、紙面の関係上、割愛しますが、難病についてお知りになりたい方は、「難病情報センター」のホームページを参考になさってください。また、各種相談は、各地区の難病相談・支援センターや保健所で行っています。

当センターは各種障害者の皆さんから相談もお受けしているので、難病についても勉強していくべきだと本当に思いました。少しでも皆さんの力になれるようがんばります。

事務局の動き

1月

5日(月)	仕事始め
6日(火)	パソコン教室
9日(金)	センター理事会
13日(火)	パソコン教室
14日(水)	フェイス相談日
14日(水)	相談支援事業連絡協議会
20日(火)	パソコン教室
27日(火)	パソコン教室

2月

3日(火)	パソコン教室
5日(木)	社協賀詞交換会
9日(月)	杉井通院
10日(火)	パソコン教室
13日(金)	船橋市自立支援協議会
14日(土)	森山幹夫氏講演会
14日(土)	船橋市福祉作業所連絡会
17日(火)	パソコン教室
24日(火)	パソコン教室

3月

3日(火)	パソコン教室
10日(火)	パソコン教室
11日(水)	フェイス相談日
17日(火)	パソコン教室
24日(火)	パソコン教室
31日(火)	パソコン教室

4月

1日(水)	開所式
2日(木)	職員会議
7日(火)	パソコン教室
8日(水)	フェイス相談日
14日(火)	パソコン教室
21日(火)	パソコン教室
28日(火)	パソコン教室

ニューフェイス紹介

私、「まさし」でございます。僣越ながら、4月から作業所WAVEに入った『新人』さんを紹介させていただきます。

★ミスターミャオ

知る人ぞ知る彼一。ついこの間まで某施設の所長だった人です。センターに来たことがある人は、「ぜんぜん新人じゃないじゃん!!」とすぐ分かるはずですね。ニックネームはミャオで猫みたいだけど、家で飼っているのは犬らしい。名前はルーシーって言うんだって。若い頃、テレビでルーシーショー見てたんだってサ。



(まさしからのお願い：会議の時にしゃべりすぎないでネ)

★ミスターリッキー

リッキーは正真正銘の新人一。この3月に高等部を卒業したばかりのティーンエイジャーです。気だけが若い私と違って、本当に平成生まれなのだ。毎日、がんばって名刺を作ったり、入力したり・・・社会人としての一步を踏み出しています。皆さん、リッキーを応援してネ!



(まさしからのお願い：毎日、元気で作業所に来てネ。)

カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。
厚くお礼申し上げます。（順不同）

佐久間良夫様 福元高明様 前田満子様 松平義親様
山田洋様 山ノ井一教様 医療法人船橋クリニック様

会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただけていない方、同封の振込用紙をご利用の上、お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員が3,000円、賛助会員が5,000円、団体が10,000円となっております。

同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパ（もちろん強制ではありません）などを送っていただく際に、便利のように同封したものです。

なお、納入状況など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

編集後記

山本さんの文章にもあったように、今、私たちはバリアフリーガイドを作っています。みなさんは、「バリアフリー」という言葉を聞いてどう思われるでしょうか？ バリアフリーっていったい何なのだろうと私も思います。誰もが住みやすい街とは言うけれど、なかなか難しいですね。例えば、私は杖をついているのですが、よく点字ブロックにつまづいてしまいます。しかし、それは視覚障害者の方にとっては必要なものです。いったいどういう風に設備を整えれば良いのでしょうか。またどこまでを設備に頼り、どこから人々の心に委ねればよいのか。私には、あまりはっきりしません。みなさん、どのように感じられていますか

W・M

お知らせ

船橋バリアフリーガイドの第3弾を発行することになりました。財団法人松翁会の助成を頂いて行うもので、今年の6月末までには、完成予定です。現場の調査や、データの入力などに、ご協力頂ける方を募集します。

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
身体障害者定期刊行物協会
頒価 100円